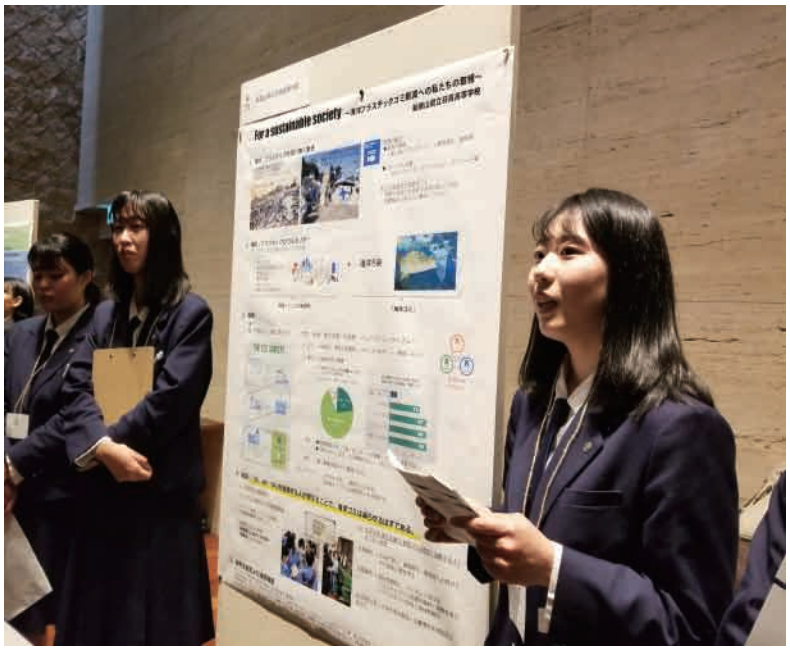
和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第3号
2020年5月1日

2019 年度活動記録

全国海洋教育サミット（2）

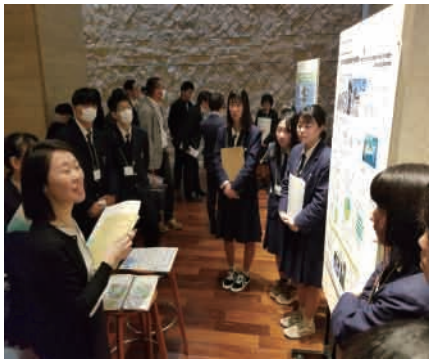
2020 年２月１５日（東京大学）

全国規模の大会で発表することで、自分たちの発表技術を磨く経験ができました。また、受賞校のレベルの高い発表を見ることで、素晴らしい発表とは何かを学ぶことができました。身振り手振りを増やす、相手に問いを投げかける、聞き取りやすい言葉と声の大きさで伝える、それらの重要性を直接学ぶことができました。自分たちの発表についても褒めていただきましたが、今後はもっと自分たちの発表技術を磨いていきたいと思いました。（全員での総括より）



東京に行くまで何度も練習しましたが、当日の出来が一番良かったと思いました。原稿がその通り口に出てこなくても、内容がしっかり頭に入っていたので、自分の言葉に置き換えて発表できました。こちらから質問を投げかけた時には聞き手から反応があって嬉しかったです。発表することが楽しいと感じました。

質疑応答では答えにくいような質問も受けましたが、この一年、自分たちが取り組んできたこと、学んできたことからしっかり答えることができました。この研究に真剣に取り組んできたからこそだと思いました。（３年２組　中山莉沙）



自分たちの成長を最も感じたのはプレゼンテーション能力です。ベトナムで悔しい思いをしたプレゼンテーション。その反省をもとに、今回は当日まで内容をよく読み込み、大きな声で、わかりやすいプレゼンテーションを実現できました。全員の意識が高くなり、それが行動に繋がったからこそだと思います。

自分自身についても、内容への理解が深められていることを証明できた機会となりました。

（３年５組　日下瑞希）

テーマである「プラスチックゴミ問題」についての関心もこの一年を通して深まりました。サミットでは、小学生や大学で研究している方など、多くの人が海洋ゴミ問題について真剣に発表していました。これだけ多くの人が真剣に取り組んでいるのだから、地球上のごみも海洋ゴミも、きっと減らせるだろうという希望を持ちました。私たちの取組についても、もっとたくさんの人に知ってもらえるように、これからも発信し続けたいと思います。（３年３組　岡本祐希奈）